

丹波篠山ワクワク農都づくり協議会（兵庫県丹波篠山市）

R5補正
R6当初

53

背景・課題

丹波篠山市では、約300年以上にわたる黒大豆栽培が令和3年2月に日本農業遺産に認定されたが、農家数の減少や高齢化により農村の担い手が減少しているため、大規模・小規模などの「多様」な農家で、持続可能な農業・農村づくりに取り組む。



丹波篠山

↑丹波篠山市
オーガニック
ビレッジ
ロゴマーク



丹波篠山市

構 成 員

篠山自然派、丹波篠山市認定農業者協議会、丹波ささやま農業協同組合、丹波篠山市（事務局）

品 目

水稻、黒大豆、野菜



丹波篠山ワクワク
農都づくり協議会
ホームページQR

成果目標

関係機関の協力を得ながら、水稻と黒大豆の有機輪作モデルの確立、新規有機就農者の育成、観光業や消費者との連携等に取り組むことにより、有機農業と慣行農業の共存を目指す。

本事業の取組を進めることにより、市内の農業者等の環境や生物に対する保全意識が高まり、2050年度までに化学農薬使用量の50%低減、化学肥料使用量の30%低減に寄与。

有機農業面積（R3→R9）：13.3ha→21.7ha（うち有機JAS：3.3ha→8.3ha）

R5：23.3ha（うち有機JAS：10.5ha）

有機農業者数（R3→R9）：20人→28人（うち有機JAS：8人→13人）

R5：36人（うち有機JAS：12人）

主な取組内容

- スマート機器を活用した有機水稻生育調査、水田除草機実証
- 市内のマルシェイベント出展



スマート機器を活用した
有機水稻生育調査、
水田除草機実証



普及センター、JA、市による
有機黒大豆生育調査



市内のマルシェイベントに
出展し、有機農産物を販売

普及に向けた取組

- 1 農業者・消費者の有機農業への理解促進：有機農業についての座談会開催
- 2 栽培技術の確立：スマート機器を活用した有機水稻生育調査、水田除草機実証の継続
- 3 有機農産物の販路と価格形成：学校給食への利用や商談会の開催
- 4 有機農業者（新規就農者）の育成・確保：有識者による栽培技術勉強会を開催
- 5 情報発信力の強化：協議会ホームページやSNSで協議会の取組をタイムリーに発信

問い合わせ先

丹波篠山市農都創造部農都政策課
TEL：079-552-1114